

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 鳴海商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考							
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D評価									
巡回・窓口相談指導事業	新型コロナウイルス感染症によりほぼすべての業種が多大な影響を受け、特に小規模事業者においては企業体力が弱いこともあり非常に厳しい経営環境に置かれている。そこで、従来通りの窓口巡回指導と並行し、需要開拓や経営承継等の小規模事業者の抱える様々な課題に対し、事業者により近いながら、課題解決のための伴走型支援を継続的に行っていくことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回窓口指導実企業数739件（内、非会員44件）</li> <li>巡回窓口指導延件数2,153件（内、非会員125件）</li> <li>課題解決提案件数50件</li> </ul>	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 86.1%)			指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0%)			地区内小規模事業者等を対象に経営指導員等により巡回・窓口相談指導を実施し、小規模事業者等の経営改善に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症に関する助成金や小規模事業者持続化補助金等にかかる申請を支援した結果、持続的な経営、会員加入につながった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	巡回並びに窓口指導を引き続き濃密支援していくとともに、新型コロナウイルス感染症にかかる各種施策の普及と支援に努める。
				目標数値	2500	実績数値	2153	目標数値	50	実績数値	50					A		必要性		現行どおり	現行どおり	
				目標数値				目標数値								B		A		現行どおり	現行どおり	
記帳継続指導	小規模事業者等に対し、記帳方法や決算・確定申告の指導を行うことで記帳知識の向上を図るとともに、適切な税務申告や経理の自計化及び計数管理による経営力の向上に結びつけることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>経理記帳指導、決算確定申告指導、源泉徴収指導等を実施した。</li> <li>指導対象者数 85件</li> <li>指導延日数 631日</li> <li>指導延回数 849回</li> </ul>	小規模事業者等	指標	指導事業者数 (達成度 94.4%)			指標	指導事業者数 (達成度 %)			個人事業主等を対象に正しい記帳方法や決算・確定申告等の指導を行い、経営力の向上を図るとともに、持続化給付金等の申請を支援し経営の安定化に貢献できた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	経営分析や同業他社の動向等有益な情報を提供し経営支援していくこととする。
				目標数値	90	実績数値	85	目標数値		実績数値						A		必要性		現行どおり	現行どおり	
				目標数値				目標数値								B		A		現行どおり	現行どおり	
講習会	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。リモート講習会も視野に入れて開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団指導 経営革新 1回</li> <li>経営一般 1回</li> <li>情報化 2回</li> <li>税務 1回</li> <li>個別指導 経営一般 4回</li> <li>情報化 1回</li> <li>金融 2回</li> <li>税務 14回</li> </ul>	小規模事業者を中心とする 商工業者等	指標	講習会開催数 (達成度 83.9%)			指標	講習会開催数 (達成度 %)			新型コロナウイルス感染症により一部中止とはなったが、多様な知識習得ができ、小規模事業者の資質向上につながる事ができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、新たな事業者の資質向上に役立つ講習会を企画し、参加者数の増加を図る。
				目標数値	31	実績数値	26	目標数値		実績数値						A		必要性		現行どおり	現行どおり	
				目標数値				目標数値								B		A		現行どおり	現行どおり	
祭典事業	非会員事業所や一般の人々に広く商工会活動を周知する機会として、各種祭を開催若しくは運営・出展し、地域の経済活動を推進するとともに、地域の総合的な振興を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑区区民まつり 10月22日 大高緑地公園</li> <li>緑東部商業まつり 11月4日 通曲公園</li> <li>クイズラリー10/29~11/1</li> </ul>	小規模事業者を中心とする 商工業者等、祭典参加者、地域住民	指標	実施・協力回数 (達成度 100.0%)			指標	実施・協力回数 (達成度 %)			新型コロナウイルス感染症により祭典が中止となるなか、密を避けた事業により地域資源・観光資源のPRと、地区内商工業者や地域住民へ商工会活動を周知することができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	新型コロナウイルス感染症に配慮しながら新しい地域活性化等のイベントに協力し、祭典参加者のPRを積極的に行い、地域の総合的な振興に努める。
				目標数値	2	実績数値	2	目標数値		実績数値						A		必要性		現行どおり	現行どおり	
				目標数値				目標数値								A		A		現行どおり	現行どおり	
商店街・街づくり事業	消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出等、地元中小事業者が抱える様々な経営課題解決に向けて、地域活性化、集客力向上につながるイベント事業を実施し、地元事業者の活性化を通じて地域振興、街づくりに寄与することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>なごや商業フェスタ 4月</li> <li>名古屋で買おまい★プレミアム商品券 6月</li> <li>桃山黒石支店夏まつり大会 8月6日</li> <li>旭出支部鹿山秋まつり大会 10月14・15日</li> <li>戸笠支部桜まつり・戸笠支部盆踊り大会、鳴海こよひ祭り</li> <li>新型コロナウイルス感染症により中止</li> </ul>	小規模事業者を中心とする 青年部員、女性部員及び地域住民	指標	事業の開催数 (達成度 80.0%)			指標	事業の開催数 (達成度 %)			新型コロナウイルス感染症による行動自粛にともなう消費の減退に対し、購買意欲を高める消費者行動の一助となった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	新型コロナウイルス感染症に配慮しながら新しい地域活性化、集客力向上につながるイベント事業を思考していくこととする。
				目標数値	5	実績数値	4	目標数値		実績数値						A		必要性		現行どおり	現行どおり	
				目標数値				目標数値								B		A		現行どおり	現行どおり	
青年部・女性部事業	青年部員・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>青年部事業 研修事業 2回</li> <li>親睦事業 3回</li> <li>その他 13回</li> <li>女性部事業 研修事業 7回</li> <li>親睦事業 2回</li> <li>その他 15回</li> </ul>	小規模事業者を中心とする 青年部員、女性部員及び関係者	指標	事業の開催数 (達成度 110.5%)			指標	事業の開催数 (達成度 %)			概ねコロナ禍以前程度の事業実施を実施することができ、研修・親睦事業等を通して、経営力向上に資することができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	部員の交流機会を増やし、参加者数及び満足度を高めるよう実施する。
				目標数値	38	実績数値	42	目標数値		実績数値						A		必要性		現行どおり	現行どおり	
				目標数値				目標数値								A		A		現行どおり	現行どおり	

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 鳴海商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考		
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D評価				目標①				目標②	
部会・委員会事業 (商業・工業建設業)	商業・工業建設業の各部会活動を行い、会員企業の発展に資する事業を計画・推進する。また、必要な委員会があればこれを設置し活動を行う。	各種活動について幹事会を開催した。 ・幹事会の開催数 工業建設業部会 2回 商業部会 2回	小規模事業者を中心とする 商工業者等	指標	幹事会の開催数 (達成度 100.0 %)		指標	(達成度 %)		新型コロナウイルス感染症に対する各種事業運営についての協議ができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	事業発展につながる事業を企画、実施する。また、必要があれば商業・工業建設業合同で事業を実施する。
				目標数値	4	実績数値	4	目標数値	実績数値				目標達成度		A		必要性	現行どおり	
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営の持続的な安定を実現するために、各種共済制度の普及を図り企業の健全な育成に資することを目的とする。	巡回・窓口等で各種共済制度、特にかん共済の普及を図り地区内企業の健全な育成を図った。 ・普及活動件数 334件	小規模事業者を中心とする 商工業者等	指標	普及活動件数 (達成度 104.4 %)		指標	(達成度 %)		中小企業共済を多くの事業者に周知することができ、小規模事業者の福利厚生の増進に寄与した。	総合評価	A	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	各種共済制度の普及及び地区内企業の健全な育成のため、現行どおり普及活動を実施する。
				目標数値	320	実績数値	334	目標数値	実績数値				目標達成度		A		必要性	現行どおり	
労働保険事業	事業主の委託を受けて、労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び適正な処理を図ることを目的とする。	新規事務委託7社、139社より事務委託された。	小規模事業者を中心とする 委託会員事業所	指標	労働保険委託事業者数 (達成度 92.7 %)		指標	(達成度 %)		委託事業所の労働保険に関する事務負担の軽減と各種助成金の紹介等で各事業所の経営に貢献できた。	総合評価	A	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	委託事業主の事務負担軽減のため継続して実施していくとともに、労働保険制度を周知し新規事務委託者の増加を図る。
				目標数値	150	実績数値	139	目標数値	実績数値				目標達成度		A		必要性	現行どおり	
税務関係団体指導事業 (青色申告会事業)	青色申告会鳴海支部の事業運営に協力し、個人事業主等を対象に正しい記帳方法や決算・確定申告の指導を行い、適切な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	経理記帳指導、決算確定申告指導、源泉徴収指導等を実施した。 ・指導会の協力回数 11回	小規模事業者を中心とする 青色申告会会員事業者	指標	指導会の協力回数 (達成度 91.7 %)		指標	(達成度 %)		青色申告会鳴海支部の事業運営に協力し、定期的な記帳指導を行うことにより、個人事業主等の記帳能力の向上に寄与した。	総合評価	A	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	定期指導の実施方法について効率化を図り、会員の記帳の能力向上に努める。
				目標数値	12	実績数値	11	目標数値	実績数値				目標達成度		A		必要性	現行どおり	
健康普及事業	事業者及び従業員を対象に健康診断等を実施することにより、企業の健全な育成に資することを目的とする。	健康診断を実施した。 令和4年6月16-17日 56社 令和5年3月1日 31社	小規模事業者を中心とする 商工業者及び従業員等	指標	参加企業数 (達成度 108.8 %)		指標	(達成度 %)		健康診断を実施することで企業の福利厚生の増進に貢献できた。	総合評価	A	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	企業の福利厚生及び従業員の健康維持増進のため、継続して実施する。
				目標数値	80	実績数値	87	目標数値	実績数値				目標達成度		A		必要性	現行どおり	
若手後継者及び若手経営者育成事業	若手経営者、若手後継者、企業経営に携わる女性のために、経営に必要な知識の修得や資質向上を図り、企業の持続的発展さらには地域経済の発展に資することを目的とする。	・青年部 セミナー 1回 13名 主張発表全国大会 5名 ・女性部 セミナー 1回 9名 全国大会参加 3名	小規模事業者を中心とする 青年部員及び女性部員	指標	セミナー参加者数 (達成度 110.0 %)		指標	満足度調査 (達成度 127.3 %)		青年部：例年と趣向を変えて法律に関する講習会を実施した。日頃あまり意識はないが、全て経済活動や経営は何らかの法律上に行われている。思わぬことでつまづいてしまわないために、弁護士に講師を依頼し、興味をひく実話を交えながらの実用的なセミナーとして好評を博した。 女性部：SNSを利用した販路拡大についてセミナーを開催し、知名度向上・集客のため活用方法を学んだ。全国大会の事例発表では、全国の女性部の活動事例を聴くことができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	後継者等の課題解決を図るため、資質向上につながるセミナーを実施する。
				目標数値	20	実績数値	22	目標数値	75				実績数値		95.5		目標達成度	A	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。